

2020年11月12日

関西電力（株）

特重施設の運用開始後における原子力災害時の情報管理の検討

- 原子力災害対応において、特重情報を含まない形での帳票案を検討した。本案が採用された場合、実発災時においても基本的には特重情報管理を除外する必要はないと考えられ、実発災／訓練と同じ運用を行うためにも、特重情報を含まない形での運用が望ましい。

- なお、上述の採否とは別に、幅広い検討のため、特重情報を含む帳票で原子力災害対応を行った場合の課題等を検討する。

以上